

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活共同組合	代表者	竹生正人	法人・事業所の特徴	県民せいきょうが大切にしている介護①尊厳を守る。②自立を支援。③在宅を支援。に基づきご利用様がきらめき利用中もその方のご自宅での状況を想定し生活場面での自己動作の自立を心がけた支援を行っています。勝山きらめき小規模多機能は地域の中で家族の一員としての役割を今後一層積極的にはたしていく7年目を迎えています。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 勝山きらめきハウス	管理者	笠川明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	2人	人	5人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・自己評価を高めるため、全職員が小規模多機能の役割を再認識し、一つ一つの評価項目を理解し、良い自己評価が得られるよう努力する	・自己評価時職員皆で確認しながら行う事で各項文句内容を理解し自身の出来ている所、不十分な所の意見が出て職員全員で共有する事が出来た。	・毎回の運営推進会議を通し事業所内の状況の報告があり良く出来ている。	・利用者様の「〇〇したい。」を引き出し実現する為に個別で対応し関わりをもつ事で在宅生活の継続につながる自立支援を行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・大人から子供まで、地域の方がいつでも訪れてくれる開放感のある場所作りを目指す	・夏休み中の子供達が利用者様と一緒に過ごす「きらめきキッズ」を開催。 ・サロンの回覧を早めに配布する事で参加者が増加。 ・五月祭では地元の幼稚園から高校生までの子供達や遠くの地域の方の参加があり大盛況であった。	・土、日曜日（小規模と隣接する施設）の事務所に誰も居ないことがあり訪問者の対応が出来ない。又不審者対応についても課題がある。 ・インターホンを押しても応答がなかった。	・頂いた地域の声を勝山きらめき全体の意見として受け止め、出来る事、出来ない事を明確にし報告していく。来訪者からもいろいろな意見を頂きより良い施設にしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・職員は勝山きらめきの顔であることを念頭に置き地域の方と関わりを持つ	・サロンは全職員が当番で関わりをもつ事ができている。 ・地域の行事に利用者と一緒に参加できている。	・この項目の質問内容が解り辛い。 ・プライバシーや近所とかの事もあり施設を訪れにくい。	・職員全員が地域の行事に参加するだけでなく準備段階からも関わらせてもらい目に見える関係を構築していく。 ・地域行事、日程を把握する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の声を増やしていく（地域以外の民生委員や利用者家族の参加）	・民生委員さんより地域の独居の方の状況や病気や怪我をされて心配な方の相談を受け地域包括の担当者や事業所から必要な助	・電話帳にきらめきの電話番号が掲載されていない。相談したくても相談できない。	・独居の利用者様だけではなく、利用者全員の担当の民生委員さんにカンファレンスの参加の声かけ（介護者さんの了承を得て）

		<p>言を行う事ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者（独居）のカンファレンス時にその地区の民生委員さんに参加していただいた。 		<p>を行なっていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各利用者の避難所や避難方法、薬剤情報等の確認。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・資料は事前に配布し会議に参加して頂くよう声かけをする ・会議では毎回、同じような報告をするだけでなく意見交換の場となるよう工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料は事前配布し会議への参加依頼が出来ている。 ・問題提起を行い様々な立場の思いを伝えあうことが出来る意見交換の場になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議は皆の意見が出ている。又話しやすい雰囲気がある。しっかりと意見交換が出来ている。 ・年間計画が年度当初にわかると計画が立てられやすい。今後もお願したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議を通して地域の中できらめきが果たしている役割やきらめきに対してどのような思いがあるかを話し合っていく。 ・資料配布は継続し会議の前日には電話で連絡させていただく。 ・利用者・家族の参加の声かけ。
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に参加していただいてその場で意見や指導を受け、共有する（訓練への参加の声かけをする） 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルはあるが区長さんにはまだ提出できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル通りの訓練は意味がない。 ・年1回は日曜に行い住民参加の避難訓練を行なってはどうか。この地区は6月第1日曜日が訓練の日になっている。 ・有事の際は区長さんに連絡するようにしたらどうか。 ・福祉避難所の教育福祉会館までは遠く、同地区のふれあい会館では必要な備蓄が整備されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練の日程を確認し事業所だけでなく地域全体の防災・災害対策を行なう。 ・元町地区の福祉避難所を担える対策を検討。